

救援金使途報告

日本赤十字社は、皆様からご協力いただいたスマトラ島沖地震・津波災害の救援金を、災害発生直後の緊急救援及び中・長期的に行う復興支援活動に活用しており、これまでに使用したあるいは使用予定の救援金等の使途を以下に報告します。(2010 年 12 月)

緊急救援・復興支援活動資金内訳

・スマトラ島沖地震・津波災害救援金	98 億 7,000 万円
・日本赤十字社活動資金	7 億 2,300 万円
総額	105 億 9,300 万円

平成 16 年～22 年度の使途実績（緊急救援・復興支援）(2010 年 9 月末時点)

◆緊急支援活動(医療救援活動、救援物資の提供や避難所の整備)	17 億 7,100 万円
◆インドネシア、スリランカへの支援	
・家を失った被災者の住宅再建など	33 億 4,700 万円
・地域に根ざした災害対策の推進など	2 億 9,700 万円
・病院再建など保健医療衛生支援	14 億 5,200 万円
・被災した児童や学校への教育資材の提供など	4 億 7,000 万円
・被災国赤十字社の救援・復興体制の整備など	6,300 万円
・復興事業の調査・要員の派遣など	12 億 6,200 万円
◆その他の被災国への国際赤十字を通じた支援	9 億 1,600 万円
◆アジア・太平洋地域の広域救護倉庫建設など	5 億 2,300 万円
◆事業運営に要する事務的経費	2 億 3,800 万円
計	103 億 3,900 万円

平成 22 年～23 年度の使途計画（復興支援）

◆インドネシア、スリランカへの支援	
・家を失った被災者の住宅再建など	100 万円
・地域に根ざした災害対策の推進など	6,000 万円
・病院再建など保健医療衛生支援	4,900 万円
・被災国赤十字社の救援・復興体制の整備など	1,500 万円
・復興事業の調査・要員の派遣など	6,800 万円
◆アジア・太平洋地域の広域救護倉庫建設など	5,300 万円
◆事業運営に要する事務的経費	900 万円
計	2 億 5,400 万円

※使途計画は、今後の被災地の情勢変化等により変動することがあります。